

事業の特徴

1. AI TrustCenter (AI透明性管理)



外部パートナー・顧客・監査機関向けに、AIのリスク・性能・ポリシー遵守状況などの透明性情報を分かりやすく可視化・公開できるポータル機能を備える。

2. AI Asset Register (AI資産台帳) およびAI監査機能



組織内で利用されるすべてのAIモデル・データセット・ワークフローを自動的に発見し、資産として台帳化するとともに、リスク・性能・法令準拠を監査可能にする。

3. GRC (ガバナンス・リスク・コンプライアンス) / MLシステムとの統合



既存のGRCツールやML Ops/MLシステムとシームレスに連携し、AIガバナンス情報を組織全体のリスク管理プロセスへ統合できる。

4. DeepEvalなどのフレームワークを用いた継続的評価



DeepEvalなどの評価フレームワークを活用し、モデルの品質・安全性・バイアス・ドリフトを継続的に監視・評価することで、常に最新のリスク状態を把握できる。

マッチングニーズ

求める 都内企業像

- コンサルティング会社、システムインテグレーター (SIer)
- 銀行・Fintech・保険会社
- AIを導入・活用する大企業（製造業、流通、金融など）

実現 したいこと

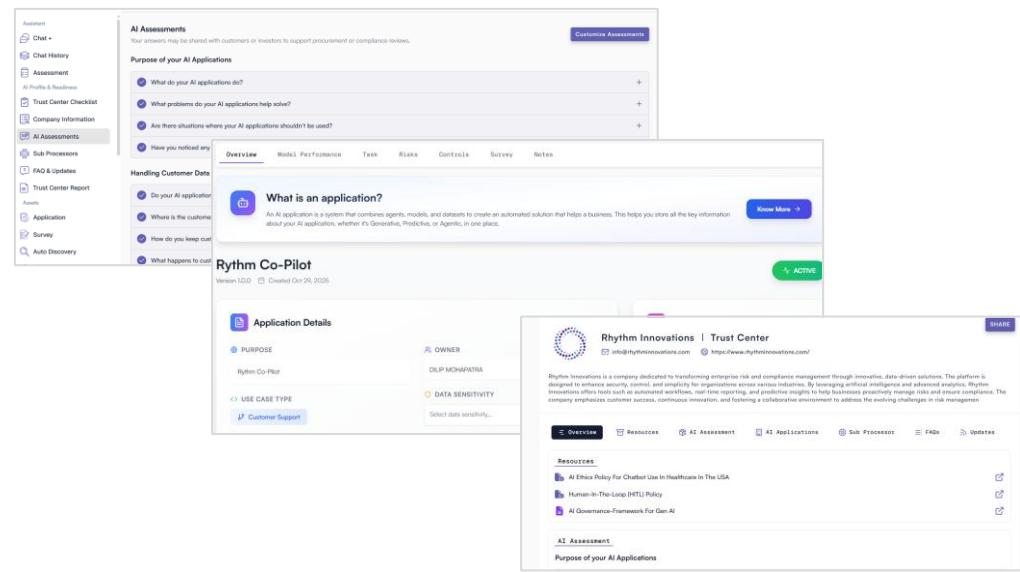
- 企業が「責任あるAI」を実践できるように支援
- AIガバナンスの整備・透明性確保
- 世界的な規制遵守（EU AI Act など）への対応
- AIリスクの低減と品質確保
- 自動化ツールによる監査・モニタリング効率化

事業概要（サービス／製品）

・CognitiveView は、企業が AI を導入・運用する際のガバナンス、コンプライアンス、リスク管理をワンストップで支援する「AI ガバナンス・プラットフォーム」です。AIシステムの適法性・倫理性・透明性を確保し、公正かつ責任あるAI運用を促進します。

・同社のプラットフォームでは、すべての AI アプリ／モデルを中央管理する「AI Registry」、リスク評価とコントロールの自動化、「Explainable AI（説明可能な AI）」機能による出力のトレーサビリティ、バイアス・ドリフトなどリスクの継続モニタリングなど、多面的にガバナンスを実装可能です。

・特に、金融・法務・医療など規制・コンプライアンスが重要な業界、あるいは大規模に複数のAIを運用する企業に適しており、AI導入の透明性・安全性の担保、規制対応、信頼性の確立、社内／社外ステークホルダーへの説明責任の履行、といった価値を提供します。



The screenshot displays the CognitiveView platform interface, featuring three main sections: 1. **AI Assessments**: A form for reviewing AI applications, asking questions about their purpose, problems solved, and usage scenarios. 2. **Application Details**: A card for 'Rhythm Co-Pilot' showing its purpose (Rhythm Co-Pilot), owner (DILIP MOHAPATRA), use case type (Customer Support), and data sensitivity. 3. **Resources**: A list of links including 'AI Ethics Policy For Chatbot Use in Healthcare in The USA', 'Human-In-The-Loop Fintech Policy', and 'AI Governance-Framework For Gen AI'.

事例

実施概要

「AI アセット」を自動で発見 (discovery)・目録化 (registry) できるソリューション

詳細

- 複数部署／複数チームにまたがる AI 利用を可視化 — “どの AI がどこで使われているか”を把握。
- モデルやデータ使用に関するコンプライアンス・リスク (例: 規制対応、プライバシー、バイアス、ドリフト) を管理。
- 企業が法令 (たとえば EU AI Act, NIST AI Risk Management Framework, ISO/IEC 42001 など) や社内ポリシーに適合しているかを可視化／ドキュメント化。

関連URL

詳細 : <https://x.gd/k4gFD>

実施概要

軽量のガバナンス成熟度 (governance maturity) の自己評価 (self-assessment) ツールを提供

詳細

- AI／データポリシーのドラフト支援 (Policy Assistant) — たとえば社内規則や法令対応ポリシーのひな形を作成。
- “Trust Center” — 顧客やパートナー、将来の投資家や規制当局向けに、企業としての AI ガバナンス体制を見せるためのドキュメント／ダッシュボード。
- これにより、スタートアップは「ガバナンス不足だから大企業に相手にされない」「コンプライアンス対応のための大規模投資が必要」といった壁を低くし、「早く、きちんと、信頼できる AI 企業」として商談や契約を進めやすくなります。

関連URL

詳細 : <https://x.gd/Ed717>

会社概要

■ 業種分類：金融サービス

HP :
<https://www.cognitiveview.com/>



■ 日本への進出体制

日本支社有無	無	日本語対応	有
日本での検討状況	すでに複数の日本企業と協業中		
その他			

■ 会社概要

社名	CognitiveView Inc		
会社HP	https://www.cognitiveview.com/		
所在地	 アメリカ		
設立年	2022	従業員数	14
資本金	—	出資	—
主な事業内容	米国テキサス州オースティンに本社を置くAIガバナンスおよびRegTech企業（2022年設立）。企業が「責任あるAI (Responsible AI)」を実践し、AI規制へのコンプライアンスを維持し、安全で信頼性の高いAIシステムを構築するための自動化されたガバナンス・監査・モニタリング機能を提供。		
事業パートナー・主要顧客	-		
海外展開状況	-		
資金調達実績	-		